

たが、調査施設および症例が少なすぎるので、調査を拡大して行うのが良いのではなか。

本年度は、中国の MDS について合同検討会を行う予定である。特に、アジアでの 5q-例はどれぐらいの割合なのか、RA が欧米とは異なるのかなどを検討する予定である。

MDS 追加発言：村手先生

WT-1 発現調節について検討しているが、まだ興味深いデータは出ていない。今年度は、スフィンゴ脂質代謝について検討を行う予定である。

「MDS 重点研究班」三谷先生

本年度の研究の概要と計画の説明があった。

「溶血性貧血 (PNH)」金倉先生

エクリツマブの臨床開発に向けて、昨年度から数回会合をもって進んでいる。

特に、今回は I-PIG Chairman の Hillmen 博士が来日しているので、情報交換を十分に行う予定である。

追加発言：小峰先生

Alexion 社と CMIG が連携して、日本でのエクリツマブ臨床試験を行うことになると説明があった。また、IPIG と JPIG の関係についても考えなければならない。

追加発言：西村先生

PNH registry はなかなか進んでいない。今後調査票の改訂が予定されているので、IRB 申請はこの改訂を待ってから行った方がよい。

IPIG の Executive Committee を設立する予定で、日本代表は木下タロウ先生を予定している。また、IPIG の NPO 法人化を準備しており、JPIG のあり方も検討しなければならない (IPIG の下部組織として活動するか、あるいは独立した別組織として存在するか)。

「骨髄線維症」原田先生

IMF の前方視的調査について説明があった。

治療法の違いによる予後はどうか？脾照射は予後を改善するのか？ (澤田)

IMF の貧血に対する蛋白同化ホルモンの効果研究を予定している。

「造血幹細胞移植領域」岡本先生

MDS に対する SCT に関する指針作成を計画している。MDS に対する RIST の検討を登録症例で検討する。SCT 後の長期生存例の QOL 調査を行う計画である。

その他

「輸血後鉄過剰症の全国実態調査」 高德

回収データを詳細に解析し、今後の診断基準や診療ガイドライン作成、および経口キレート剤開発の参考データとする予定である。

平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）  
特発性造血障害に関する調査研究班  
および  
重点研究：骨髄異形成症候群に対する画期的治療法に関する研究班

平成 18 年度 第 2 回合同班員会議 議事録

日時：平成 19 年 1 月 25 日（木）16：00～20：30

場所：アステラス製薬本社 313 会議室

〒103-8411 東京都中央区日本橋本町 2-3-11

参加者：小澤、三谷、中尾、澤田、金倉、石川（内山代理）、朝長、中畑、村手、原田、岡本、下田、小峰、西村、高德、鈴木、吉田（小澤班事務局）、井澤（三谷班事務局）（他、アステラス製薬から 4 名）

小澤からの開会の挨拶に引き続き、＜報告事項＞があった。

平成 19 年度より分担研究者として杉田先生（東邦大学）に加わって頂く、これは来年度に臨床調査個人票をもとにした再生不良性貧血症学調査のまとめを担当して頂くためである。

事務局交代について、高徳の自治医大退職に伴い、来年度から鈴木隆浩先生が担当する。

＜審議事項＞ --- 今年度の進捗状況と来年度の研究計画について

「再生不良性貧血」中尾先生

今年度の疫学調査は、日本臨床血液学会「血液疾患登録」とリンクして進めた。これまでに全国で 30 施設が IRB の承認を得て参加している。しかし、登録センターに届いた症例はまだ 111 例であった。来年度はさらに参加を促しセンター登録を増やす予定である。

来年度は杉田先生と連携して、疫学調査のまとめをするよう小澤から発言があった。

秋田大学では、データ送信時に大学メインサーバから拒否されるようなトラブルがあったと澤田先生から発言あり。

「成人再生不良性貧血における免疫病態マーカーの意義を明らかにするための多施設共同前方視的臨床研究」については、まだ参加施設も少ないので、研究を認知してもらえるよう努力する。

「赤芽球癆」澤田先生

続発性 PRCA の全国調査の要旨報告があった。

今年度は、回収したデータの補完作業を行う予定である。また、GLPD 合併 PRCA の病態解析を進める。

「不応性貧血」石川先生

AA/MDS の前方視的症例登録・セントラルレビュー・追跡調査研究を今年度開始できた。まだ IRB 承認がとれている施設が少ないので、登録症例は 11 例である。来年度はさらに登録例が増えるように、各施設に働きかける。

MDS に対する検体集積事業ならびに遺伝子解析研究についても、今年度に事業が開始できた。しかし、まだ参加施設が少なく検体も 9 例しか集積できていない。

三谷先生追加発言：検体集積をはじめてみて気付いたことだが、現場では IC 取得の難しさが

あるようなので、少し工夫が必要である。また、現計画書だと検体を1年後に破棄することになって、もったいない印象がある。登録施設に返却するなど対策が必要ではないか。

朝長先生

MDS 形態診断基準アトラス作成について説明があった。来年度中に不応性貧血（MDS）の形態診断基準（松田先生担当）と合わせて、冊子としてリリースする予定である。

長崎原爆の MDS 発症疫学調査行い、被爆者の MDS の発症率は、非被爆者の 1.5 倍高いことが分かった。

細胞密度の評価については、骨髄生検のやり方（十分なサンプルを取るよう）も含めて記述するようにすると、朝長先生から追加発言あり。

村手先生

MSD での WT-1 発現調節を解析しているが、まだ明確な結果は出ていない。また今年度は、スフィンゴ脂質代謝について検討し、SPHK1 の発現が細胞増殖や抗癌剤耐性に関連している可能性が分かってきた。来年度は SPHK1 阻害が治療応用できるかどうか検討を進める。

「MDS 重点研究班」三谷先生

本年度の研究の概要と3年間の研究成果報告予定の説明があった。

「溶血性貧血（PNH）」金倉先生

昨年12月8日、第4回 I-PIG（米国オーランド）に参加した。ここでは主に I-PIG の NPO 設立に向けた事項が話し合われた。

追加発言：西村先生

PNH registry は、今後調査票の改訂が予定されているので、新規登録や IRB 申請を待機してもらっている。謝金の支払いについては、国内でも法人格を有する必要がある、どうすべきか検討する必要がある。

追加発現：小峰先生

エクリツマブの本邦での臨床試験開始が PMDA からの以下の検討課題で遅れている。一つは、規模の問題について（対象数を増やしてはどうか。小児も含めてはどうか）。二つめは、感染症の対策について（日本特有の感染症のリスクはどうか。髄膜炎菌ワクチン接種はどうするか）。Alexion 社と相談して早急に対策を立てたい。

「骨髄線維症」原田先生

今年度の新規登録を含めた前方視的調査について説明があった。また、病態解析として、JAK2mutatio トランスジェニックマウスを作成して検討を開始している。来年度はさらに病態解明をすすめたい。

MPD の患者サンプルについては、担当の下田先生が宮崎医大に移ったが、当面は九州大学に送付してよい。

治療法の検討はどうかと、小澤より発言あり。

岡本先生から追加発言：サリドマイド臨床研究は、エントリーが少なくあまり進んでいない。

「造血幹細胞移植領域」岡本先生

MDS に対する RIST の検討を JSHCT データベースで行った。また、慶応の移植症例を用いた HCT-CI による TRM と予後予測を実施した。

「小児科領域」中畑先生

小児血液学会と連携し、小児 MDS セントラルレビューを 400 例以上行った。

また、小児血液学会では、疾患登録を準備しており、将来的には臨血の疾患登録にデータの連結を考慮している。

小児 AA 治療研究会は小島先生を中心に、小児 MDS 治療研究は中畑先生が中心となり研究を進めている。

その他

「輸血後鉄過剰症の全国実態調査」 高德

データ解析終了し、昨年の日血・臨血総会および米国血液学会で報告した。輸血後鉄過剰症の診断基準や診療ガイドラインを今年度中に提案したい。

総合討論

小澤より発言：来年度は、3 年計画の最終年度であるため、診療参照ガイドの、マイナーチェンジを予定している。

特発性造血障害に関する調査研究班（平成 17-19 年度）  
班長（主任研究者）：小澤 敬也 kozawa@ms2.jichi.ac.jp  
事務局：自治医科大学内科学講座血液学部門  
高德 正昭 mtakatok@jichi.ac.jp  
（経理事務担当）吉田 元子 motokoy@jichi.ac.jp  
連絡先： TEL 0285-58-7353  
FAX 0285-44-5258

### 資料 3. 班会議総会プログラム

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業

特発性造血障害に関する調査研究班

(主任研究者 小澤敬也)

および

重点研究

骨髄異形成症候群に対する  
画期的治療法に関する研究班

(主任研究者 三谷絹子)

平成18年度 第1回合同班会議総会

平成18年7月14日(金) 9:00~14:10

アステラス製薬本社 2階ホール

特発性造血障害調査研究班30周年記念国際シンポジウム

～特発性造血障害のゲノム解析と新規治療法開発～

International Symposium

30th Anniversary of National Research Group on Idiopathic Bone Marrow Failure Syndromes

Bone Marrow Failure Syndromes

from Genomic Analysis to Novel Therapeutics

平成18年7月14日(金) 14:30~18:00

アステラス製薬本社 2階ホール

平成18年度 第1回合同班員会議

平成18年7月13日(木) 17:00~18:30

アステラス製薬本社 313会議室

(別途御案内の先生方には、御出席をお願い致します。)



《特発性造血障害に関する調査研究班》

自治医科大学 内科学講座血液学部門

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

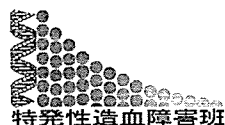
TEL: 0285-58-7353 / FAX: 0285-44-5258

URL: <http://www.jichi.ac.jp/zoketsushogaihan>

E-mail: kozawa@ms2.jichi.ac.jp (小澤敬也)

mtakatok@jichi.ac.jp (高德正昭)

motokoy@jichi.ac.jp (吉田元子)



《重点研究：骨髄異形成症候群に対する画期的治療法に関する研究班》

獨協医科大学 内科学(血液)

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880

TEL: 0282-86-1111 (内線 2744) / FAX: 0282-86-5630

E-mail: kinukom-tky@umin.ac.jp (三谷絹子)

## プログラム

開会の挨拶 (5分) (9:00-9:05)

主任研究者

小澤敬也

厚生労働省 御挨拶 (5分) (9:05-9:10)

健康局疾病対策課

- 1 特発性造血障害に関する調査研究班 班長報告 (10分) (9:10-9:20)  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

- 2 《疫学班》御挨拶・「池田班との連携疫学調査研究の進捗状況報告」 (10分) (9:20-9:30)  
東邦大学医学部衛生学 杉田 稔

再生不良性貧血領域

座長 中尾眞二

- 3 研究の進捗状況と本年度の研究計画について (5分) (9:30-9:35)  
金沢大学大学院細胞移植学 中尾眞二

- 4 成人再生不良性貧血における免疫病態マーカーの意義を明らかにするための多施設共同前方視的臨床試験進捗状況 (15分) (9:35-9:50)  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 中尾眞二、○山崎宏人、杉盛千春  
馮 興民、望月果奈子、高松博幸

- 5 赤芽球癆の全国アンケート調査集計結果とその解析 (15分) (9:50-10:05)

1. 特発性 PRCA

秋田大学第三内科 ○澤田賢一、廣川 誠、藤島直仁  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 中尾眞二  
NTT 関東病院 浦部晶夫  
昭和大学藤が丘病院 小峰光博  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

2. 続発性 PRCA：胸腺腫

秋田大学第三内科 澤田賢一、○廣川 誠、藤島直仁  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 中尾眞二  
NTT 関東病院 浦部晶夫  
昭和大学藤が丘病院 小峰光博  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

不応性貧血領域

座長 内山 卓

- 6 研究の進捗状況と本年度の研究計画について (5分) (10:05-10:10)  
京都大学血液・腫瘍内科 内山 卓

- 7 「再生不良性貧血/骨髄異形成症候群の前方視的症例登録・セントラルレビュー・追跡調査研究」の進捗状況 (20分) (10:10-10:30)  
京都大学血液・腫瘍内科学 内山 卓、○石川隆之

- 8 5番染色体異常を伴うMDSの実態調査 (10分) (10:30-10:40)  
川崎医科大学検査診断学 ○通山 薫、岸本光代  
京都大学血液・腫瘍内科学 内山 卓  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

溶血性貧血領域

座長 金倉 譲

- 9 研究の進捗状況と本年度の研究計画について (5分) (10:40-10:45)  
大阪大学血液・腫瘍内科学 金倉 譲

- 10 PNH 国際研究 (Eculizumab 治験、PNH Registry、I-PIG、J-PIG) の進捗状況 (10分) (10:45-10:55)  
大阪大学血液・腫瘍内科学 金倉 譲  
デューク大学医療センター ○西村純一  
昭和大学藤が丘病院 小峰光博  
大阪大学微生物病研究所 木下タロウ

- 【特別発言】 Eculizumab の我が国への導入に向けた活動について (5分) (10:55-11:00)  
昭和大学藤が丘病院 小峰光博

造血幹細胞移植領域

座長 岡本真一郎

- 11 研究の進捗状況と本年度の研究計画について (15分) (11:00-11:15)  
慶應義塾大学医学部血液内科 岡本真一郎

骨髄線維症領域

座長 原田実根

- 12 研究の進捗状況と本年度の研究計画について (5分) (11:15-11:20)  
九州大学病態修復内科学 原田実根

- 13 原発性骨髄線維症に対する蛋白同化ホルモン治療 (10分) (11:20-11:30)  
九州大学病態修復内科学 原田実根、○下田和哉  
久留米大学血液内科 岡村 孝  
東京医科大学第一内科 大屋敷一馬

小児科領域

座長 中畑龍俊

- 14 研究の進捗状況と本年度の研究計画について (5分) (11:30-11:35)  
京都大学大学院医学系研究科発達小児科学 中畑龍俊

- 15 小児再生不良性貧血 AA-92 治療研究長期観察 10 年の検討 (10分) (11:35-11:45)  
東邦大学医療センター大森病院輸血部 ○小原 明・中畑龍俊  
名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 小島勢二  
京都大学大学院医学系研究科発達小児科学 中畑龍俊

- 16 小児骨髄異形成症候群(MDS)治療プロトコール(MDS99)の治療成績小児 RA, RC について (10分) (11:45-11:55)  
京都大学大学院医学系研究科発達小児科学 中畑龍俊  
聖路加国際病院小児科 ○真部 淳  
東邦大学医療センター大森病院輸血部 小原 明  
名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 小島勢二

- 17 特発性再生不良性貧血患者における各種先天性骨髄不全症候群原因遺伝子(TERC, TERT, SBD, SH2DIA)変異の検討 (10分) (11:55-12:05)  
名古屋大学大学院医学研究科小児科学 小島勢二、○谷ヶ崎 博、高橋義行

その他全般

座長 小澤敬也

- 18 輸血後鉄過剰症の全国実態調査 二次調査の報告 (10分) (12:05-12:15)  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也、○高德正昭





12:15~13:05

lunch time



重点研究「骨髄異形成症候群に対する画期的治療法に関する研究」班 座長 三谷絹子

- 19** 班長報告 (10分) (13:05-13:15)  
獨協医科大学内科学 (血液) 三谷絹子
- 20** 骨髄異形成症候群に対する検体集積事業ならびに遺伝子解析研究 (15分) (13:15-13:30)  
京都大学血液・腫瘍内科 内山 卓、○石川隆之  
獨協医科大学内科学 (血液) 三谷絹子、山形哲也
- 21** 7番染色体欠失責任遺伝子候補の単離とその機能解析 (10分) (13:30-13:40)  
広島大学原爆放射線医科学研究所がん分子病態研究分野 稲葉 俊哉、○麻生博也、尾崎佑子、松井啓隆  
竹村幸敏、長町安希子、安藝大輔  
東京大学医科学研究所 癌細胞シグナル研究分野 大杉美穂
- 22** 骨髄異形成症候群におけるテロメア結合タンパク、TRF-1、TRF-2 および POT1 の協調的テロメア制御機構の障害 (10分) (13:40-13:50)  
東京医科大学血液内科 ○大屋敷一馬、本多聖子  
東京医科大学難治性免疫疾患研究センター 大屋敷純子
- 23** 不均衡型転座 der(1;7)(q10;p10)を有する MDS/AML の細胞遺伝学的特徴と臨床像・予後について (10分) (13:50-14:00)  
東京大学造血再生医療寄付講座 小川誠司、○真田 昌

事務連絡 (5分) (14:00-14:05) 特発性造血障害調査研究班・事務局 高德正昭

閉会の挨拶 (5分) (14:05-14:10) 小澤敬也



14:10~14:30

coffee break



（この時間帯で、国際シンポジウム演者ならびに両班の分担研究者、先輩の先生方に会場前方にお集まりいただき、記念撮影を行います。）

特発性造血障害調査研究班 30 周年記念国際シンポジウム

～特発性造血障害のゲノム解析と新規治療法開発～

**International Symposium**

30th Anniversary of National Research Group on Idiopathic Bone Marrow Failure Syndromes

**Bone Marrow Failure Syndromes  
from Genomic Analysis to Novel Therapeutics**

共催：厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業  
財団法人 難病医学研究財団

*Cosponsored by*

**Health and Labour Sciences Research Grants (Research on Measures for Intractable Diseases)  
of the Ministry of Health, Labour and Welfare  
Japan Intractable Diseases Research Foundation**

~~~~~ *Symposium Program* ~~~~~

*Chairperson: Keiya Ozawa, Principal Investigator*

●● 14:30 – 14:35

Speech on behalf of the Ministry of Health, Labour and Welfare

●● 14:35 – 14:45

History of the National Research Group on Idiopathic Bone Marrow Failure Syndromes

*Hideaki Mizoguchi*

Saitama Red Cross Blood Center, Japanese Red Cross Society

●● 14:45 – 15:25

Understanding Aplastic Anemia at the Molecular Level

*Neal S. Young*

Hematology Branch, National Heart, Lung, and Blood Institute, National Institutes of Health, USA

●● 15:25 – 15:50

Laboratory Markers for Immune Pathophysiology in Aplastic Anemia (AA): Towards Identification of Autoantigens in AA

*Shinji Nakao*

Cellular Transplantation Biology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science

●● 15:50 – 16:30

PNH - from Biology to Targeted Treatment

*Peter Hillmen*

Department of Haematology, Leeds Teaching Hospitals NHS Trust, UK

●● 16:30 – 16:55

Primary Myelofibrosis - the Molecular Basis and the Therapy

*Kazuya Shimoda*

Medicine and Biosystemic Science, Kyushu University Graduate School of Medical Sciences

●● 16:55 – 17:20

Genome-wide Analysis of Copy Number Alterations and Allelic Imbalances in Myelodysplastic Syndromes

*Seishi Ogawa*

Department of Regeneration Medicine for Hematopoiesis, Graduate School of Medicine, University of Tokyo

●● 17:20 – 18:00

Non-Cytokine Therapeutics for Myelodysplastic Syndromes

*Alan List*

H. Lee Moffitt Cancer Center and Research Institute at the University of South Florida, USA



18:30~20:00

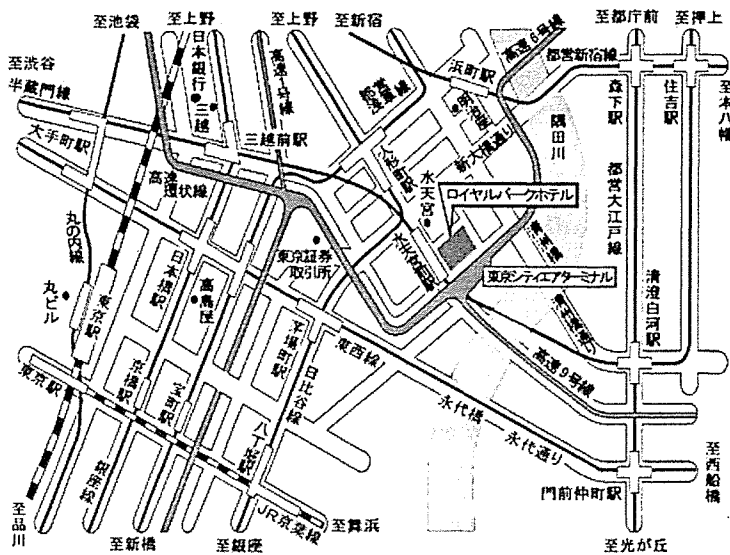
# 懇親会



予め御案内を差し上げ、御出席の御返事を下さった先生方には、送迎バスで会場へお移りいただきます。

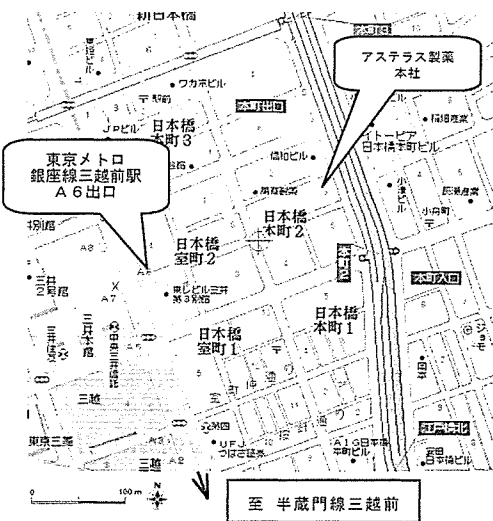
場所：ロイヤルパークホテル 2階東雲  
(東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1)  
東京駅より2km(車で10分)  
東京メトロ半蔵門線  
水天宮前駅直結  
東京メトロ日比谷線・都営浅草線  
人形町駅より徒歩5分

会費：お一人¥5,000  
合同班会議総会・国際シンポジウムの開催時間内に、受付でお支払い下さい。



御発表に際して：

- (1) CD、MO (720は不可)、あるいはUSBメモリによるデータを受付に御提出下さい。
- (2) 配布資料は、表紙右肩に□で囲んだ演題番号を記したものを、130部御用意下さい。
- (3) 割り当て時間は発表と討論を含みますので、討論の時間を残すようにコンパクトに御発表下さい



アステラス製薬株式会社本社  
東京都中央区日本橋本町2-3-11  
東京メトロ三越前駅  
A6出口(銀座線プラットホーム寄り)から3分  
※半蔵門線を御利用の方は上記出口を御利用下さい。  
東京メトロ小伝馬町駅3番出口から10分  
JR神田駅東口出口から15分  
JR新日本橋駅3番出口から10分

※駐車場はございませんので、お車での御来場は御遠慮下さい。

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業  
特発性造血障害に関する調査研究班  
(主任研究者 小澤敬也)

および  
重点研究  
骨髄異形成症候群に対する  
画期的治療法に関する研究班  
(主任研究者 三谷絹子)

平成 18 年度 第 2 回合同班会議総会

平成 19 年 1 月 26 日(金) 9:00~17:45

アステラス製薬本社 2 階ホール

(東京都中央区日本橋本町 2-3-11)

平成 18 年度 第 2 回合同班員会議

平成 19 年 1 月 25 日(木) 18:00~20:30

アステラス製薬本社 313 会議室

(別途御案内の先生方には、御出席をお願い致します。)



《特発性造血障害に関する調査研究班》

自治医科大学 内科学講座血液学部門

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

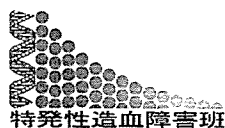
TEL: 0285-58-7353 / FAX: 0285-44-5258

URL: <http://www.jichi.ac.jp/zoketsushogaihan>

E-mail: kozawa@ms2.jichi.ac.jp (小澤敬也)

mtakatok@jichi.ac.jp (高德正昭)

motokoy@jichi.ac.jp (吉田元子)



特発性造血障害班

《重点研究：骨髄異形成症候群に対する画期的治療法に関する研究班》

獨協医科大学 内科学 (血液)

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880

TEL: 0282-86-1111 (内線 2744) / FAX: 0282-86-5630

E-mail: kinukom-ky@umin.ac.jp (三谷絹子)



御発表に際して：

- (1) CD、MO (720 は不可)、あるいは USB メモリによるデータを受付に御提出下さい。
- (2) 配布資料は、表紙右肩に□で囲んだ演題番号を記したものを、130 部御用意下さい。
- (3) 割り当て時間は発表と討論を含みますので、討論の時間を残すようにコンパクトに御発表下さい



アステラス製薬株式会社本社

東京都中央区日本橋本町2-3-1 1

東京メトロ三越前駅

A6 出口（銀座線プラットホーム寄り）から3分

※半蔵門線を御利用の方は上記出口を御利用下さい。

東京メトロ小伝馬町駅3番出口から10分

JR 神田駅東口出口から15分

JR 新日本橋駅3番出口から10分

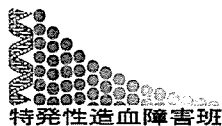
※駐車場はございませんので、お車での御来場は御遠慮下さい。

## 造血障害班ホームページの御案内

当研究班では、皆様への情報の御提供のため、ホームページを開設しております。

どうぞ御利用下さい。

URL <http://www.jichi.ac.jp/zoketsushogaihan/>  
 ID zoketsu  
 Password jichi



## プログラム

開会の挨拶 (5分) (9:00-9:05)

主任研究者 小澤敬也

厚生労働省 御挨拶 (5分) (9:05-9:10)

健康局疾病対策課

1 特発性造血障害に関する調査研究班 班長報告 (10分) (9:10-9:20)  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

再生不良性貧血領域

座長 中尾眞二

2 研究の進捗状況 (5分) (9:20-9:25)  
金沢大学大学院細胞移植学 中尾眞二

3 「成人再生不良性貧血における免疫病態マーカーの意義を明らかにするための多施設共同前方視的臨床試験」  
の進捗状況 (10分) (9:25-9:35)  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 中尾眞二、杉盛千春、高松博幸、  
望月果奈子、○山崎宏人

4 再生不良性貧血の病態における抗モエシン抗体の意義 (10分) (9:35-9:45)  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 中尾眞二、杉盛千春、○高松博幸、  
望月果奈子、山崎宏人

5 赤芽球癆の全国アンケート調査集計結果とその解析  
続発性PRCA: 顆粒リンパ球増多症 (GLPD) (10分) (9:45-9:55)  
秋田大学第三内科 澤田賢一、廣川 誠、○藤島直人  
金沢大学医学系研究科細胞移植学 中尾眞二  
NTT 関東病院 浦部晶夫  
昭和大学藤が丘病院 小峰光博  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

6 赤芽球癆の病因解析に関する共同研究提案  
続発性PRCA: 顆粒リンパ球増多症 (GLPD) (10分) (9:55-10:05)  
秋田大学第三内科 澤田賢一、廣川 誠、○藤島直人  
金沢大学医学系研究科細胞移植学 中尾眞二  
NTT 関東病院 浦部晶夫  
昭和大学藤が丘病院 小峰光博  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

7 ストレス蛋白 Hsp90 は Fanconi 貧血 (FA) 経路を介して染色体安定性を制御する (10分) (10:05-10:15)  
群馬大学生体調節研究所・遺伝子情報分野 ○山下孝之、小田 司、関本隆志

不応性貧血領域

座長 朝長万左男

8 研究の進捗状況 (5分) (10:15-10:20)  
京都大学血液・腫瘍内科 内山 卓 (代理: 石川隆之)

9 再生不良性貧血/骨髄異形成症候群前方視的症例登録の進捗状況 (10分) (10:20-10:30)  
京都大学血液・腫瘍内科 内山 卓、○石川隆之  
川崎医科大学検査部 通山 薫  
金沢大学細胞移植学 中尾眞二  
自治医科大学内科学講座血液部門 小澤敬也

10 不応性貧血(骨髓異形成症候群)の形態学的診断基準(案) (20分) (10:30-10:50)  
埼玉医科大学血液内科学 ○松田 晃、陣内逸郎、荒関かやの、別所正美  
長崎大学原爆後障害医療研究施設分子医療研究分野  
朝長万左男、波多智子、對馬秀樹

11 本邦における染色体異常5q-を伴うMDSの実態調査 (10分) (10:50-11:00)  
川崎医科大学検査診断学 ○通山 薫、田坂大象、岸本光代  
京都大学血液・腫瘍内科 内山 卓  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

12 MDSの疫学研究:長崎原爆被爆者および長崎市における発生率調査 (10分) (11:00-11:10)  
長崎大学医歯薬学総合研究科原爆後障害研究施設  
朝長万左男、○岩永正子

---

座長 村手 隆

13 骨髓異形成症候群、急性白血病におけるスフィンゴ脂質代謝酵素の発現レベルの解析  
(sphingosine kinase 1を中心に) (10分) (11:10-11:20)  
名古屋大学医学部保健学科 ○村手 隆、祖父江沙矢加、岩崎卓識、杉崎千穂  
永田浩三、高木 明、小嶋哲人  
名古屋大学医学部血液腫瘍内科 安倍明弘、直江知樹

14 骨髓異形成症候群(MDS)におけるFractalkine/CX3CR1を介した新しい免疫学的病態機序の解析  
(10分) (11:20-11:30)  
近畿大学医学部血液内科 金丸昭久、○森田泰慶、田中みやこ、前田裕弘

15 MDS/AMLの多段階発症機構におけるマスターイベントの解析 (10分) (11:30-11:40)  
広島大学原爆放射線医科学研究所血液内科 木村昭郎  
広島大学病院 ○原田浩徳  
広島大学 原爆放射線医科学研究所 国際放射線情報センター  
原田結花

16 AML1機能不全による造血幹細胞動態の変化 (10分) (11:40-11:50)  
東京大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科 黒川峰夫、○市川 幹

---

その他、全般

座長 小澤敬也

17 鉄過剰症の診断基準、治療指針作成に向けて (10分) (11:50-12:00)  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也、○高德正昭



12:00~13:00

lunch time



重点研究「骨髄異形成症候群に対する画期的治療法に関する研究」班 座長 三谷絹子

- 18 班長報告 (5分) (13:00-13:05)  
獨協医科大学内科学 (血液) 三谷絹子
- 19 骨髄異形成症候群に対する検体集積事業ならびに遺伝子解析研究 (10分) (13:05-13:15)  
京都大学血液・腫瘍内科 内山 卓、○石川隆之  
獨協医科大学内科学 (血液) 三谷絹子、山形哲也
- 20 アレル不均衡からみた骨髄異形成症候群と骨髄増殖性疾患の比較検討 (10分) (13:15-13:25)  
東京大学 21 世紀 COE プログラム 小川誠司、○真田 昌
- 21 7 番染色体責任遺伝子候補の機能解析 (10分) (13:25-13:35)  
広島大学原爆放射線医科学研究所がん分子病態研究分野 稲葉 俊哉、○麻生博也、松井啓隆、尾崎佑子  
竹村幸敏、長町安希子、安藝大輔  
東京大学医科学 研究所 癌細胞シグナル研究分野 大杉美穂
- 22 MDS における  $\beta$  カテニンの発現 (10分) (13:35-13:45)  
名古屋大学血液・腫瘍内科学 ○直江知樹、許京蘭
- 23 MDS および MPD における JAK2-V617F 変異の臨床所見 (10分) (13:45-13:55)  
東京医科大学内科学第 1 講座 ○大屋敷一馬、後藤明彦、青田泰雄  
東京医科大学難治性免疫疾患研究センター 大屋敷純子
- 24 MDS における p53 経路の異常 (10分) (13:55-14:05)  
獨協医科大学内科学 (血液) 三谷絹子、○山形哲也
- 25 プロテオミクスを用いた MDS 関連蛋白の同定とその解析 (10分) (14:05-14:15)  
東京女子医科大学血液内科 ○寺村正尚、風間啓至、泉二登志子
- 26 不応性貧血に対するビタミン K2 (VK2) 単独療法および VK2 と D3 併用療法一多施設共同研究集計結果一  
(10分) (14:15-14:25)  
東京医科大学内科学第 1 講座 ○大屋敷一馬、宮澤啓介  
都立墨東病院内科 秋山 暢  
東京大学血液・腫瘍内科 神田善伸  
川崎医科大学検査医学 通山 薫  
昭和大学藤が丘病院血液内科 小峰光博  
獨協医科大学内科学 (血液) 三谷絹子
- 27 シクロスポリン療法の効果予測因子の検討 (10分) (14:25-14:35)  
京都大学血液・腫瘍内科 内山 卓、○石川隆之



- 28 研究の進捗状況 (5分) (14:35-14:40)  
大阪大学血液・腫瘍内科学 金倉 讓
- 29 PNH 国際研究 (Eculizumab 臨床試験、PNH Registry、I-PIG、J-PIG) の進捗状況 (10分) (14:40-14:50)  
大阪大学血液・腫瘍内科 ○金倉讓、松村到  
デューク大学医療センター 西村純一  
昭和大学藤が丘病院 小峰光博  
大阪大学微生物病研究所 木下タロウ
- 【特別発言】 我が国における Eculizumab 臨床開発の進捗状況 小峰光博 -----
- 30 GPI 欠損症をめぐる最近の発見 -後天性 GPI 欠損症 (PNH) と先天性 GPI 欠損症 (10分) (14:50-15:00)  
大阪大学微生物病研究所・免疫不全 木下タロウ、○村上良子  
Duke 大学医学部 西村純一  
大阪府立成人病センター研究所・免疫 井上徳光  
大阪大学医学部・血液腫瘍内科 金倉 讓
- 31 PNH 関連造血不全疾患における NKG2D リガンド発現の臨床的意義 (10分) (15:00-15:10)  
和歌山県立医科大学 輸血・血液疾患治療部 (血液内科)  
熊本大学医学部附属病院輸血部 ○中熊秀喜、花岡伸佳  
同 感染免疫診療部 米村雄士  
川口辰哉
- 32 Coombs 陰性自己免疫性溶血性貧血の治療反応性に関する検討 (10分) (15:10-15:20)  
自治医科大学地域医療学センター 梶井英治 ○亀崎豊実 小山田 隆



15:20~15:35

coffee break



- 33 研究の進捗状況 (5分) (15:35-15:40)  
九州大学病態修復内科学 原田実根
- 34 本邦における原発性骨髄線維症の臨床像 (10分) (15:40-15:50)  
九州大学病態修復内科学 原田実根、幣光太郎  
宮崎大学消化器血液内科 (第2内科) ○下田和哉、幣光太郎  
久留米大学血液内科 岡村 孝
- 35 Jak2 遺伝子変異による慢性骨髄増殖性疾患の発症 (10分) (15:50-16:00)  
九州大学病態修復内科 原田実根、幣光太郎、下田晴子、竹中克斗  
宮崎大学消化器血液内科 (第2内科) ○下田和哉、幣光太郎、下田晴子  
久留米大学血液内科 岡村 孝
- 36 骨髄増殖性疾患症例の造血コロニーを対象とした JAK2 遺伝子の解析 (10分) (16:00-16:10)  
独立行政法人病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター ○大橋春彦、深見晶子、小栗佳代子  
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 堀田知光

小児科領域

座長 中畑龍俊

- 37 研究の進捗状況 (5分) (16:10-16:15)  
京都大学大学院医学系研究科発達小児科学 中畑龍俊
- 38 小児 MDS のセントラルレビュー (10分) (16:15-16:25)  
京都大学小児科 中畑龍俊  
東邦大学輸血部 小原 明  
名古屋大学小児科 小島勢二  
聖路加国際病院小児科 ○真部 淳
- 39 小児血液学会疾患登録事業と小児再不貧 2005 研究の構築 (10分) (16:25-16:35)  
東邦大学輸血部 ○小原 明  
名古屋大学小児科 小島勢二  
京都大学小児科 中畑龍俊
- 40 小児再生不良性貧血(AA)に対する免疫抑制療法(IST)の反応予測因子の前方視的研究 (10分) (16:35-16:45)  
名古屋大学小児科 小島勢二、○谷ヶ崎博、高橋義行、吉田奈央  
東邦大学小児科 小原 明  
京都大学小児科 中畑龍俊

造血幹細胞移植領域

座長 岡本真一郎

- 41 研究の進捗状況 (15分) (16:45-17:00)  
慶應義塾大学医学部血液内科 岡本真一郎
- 42 MDS に対する非血縁者間臍帯血移植の成績 (10分) (17:00-17:10)  
東京大学医科学研究所 先端医療研究センター分子療法分野  
東條有伸、○大井 淳、高橋 聡
- 43 間葉系幹細胞による GVHD 制御のメカニズム (10分) (17:10-17:20)  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也、○佐藤一也、尾崎勝俊
- 44 同種造血幹細胞移植後の末梢血亜分画を用いたキメリズム解析 (10分) (17:20-17:30)  
北海道大学大学院医学研究科血液内科学 今村雅寛、○加藤菜穂子、三浦洋子  
杉田純一、梶 昌美、田中淳司

総合討論 (5分) (17:30-17:35)

座長 小澤敬也

事務連絡 (5分) (17:35-17:40) 特発性造血障害調査研究班・事務局 高德正昭

閉会の挨拶 (5分) (17:40-17:45)

小澤敬也

## 資料4. 30周年記念国際シンポジウム抄録集

# International Symposium

30th Anniversary of  
National Research Group on  
Idiopathic Bone Marrow Failure Syndromes

## Bone Marrow Failure Syndromes from Genomic Analysis to Novel Therapeutics

Friday, July 14, 2006 (14:30~18:00)  
Conference Hall of Astellas Pharma Inc., Tokyo

### Chair:

**Keiya Ozawa**, Jichi Medical University

### Speakers:

**Hideaki Mizoguchi**

Saitama Red Cross Blood Center, Japanese Red Cross Society

**Neal Young**

National Heart, Lung, and Blood Institute, NIH, USA

**Shinji Nakao**, Kanazawa University

**Peter Hillmen**

Leeds Teaching Hospitals NHS Trust, UK

**Kazuya Shimoda**, Kyushu University

**Seishi Ogawa**, University of Tokyo

**Alan List**

H. Lee Moffitt Cancer Center and Research Institute, USA

### Secretariat

Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University

TEL: 0285-58-7353 FAX: 0285-44-5258 E-mail: [hematology@jichi.ac.jp](mailto:hematology@jichi.ac.jp)

URL: <http://www.jichi.ac.jp/zoketsushogaihan>

COSPONSORED BY HEALTH AND LABOUR SCIENCES RESEARCH GRANTS  
(RESEARCH ON MEASURES FOR INTRACTABLE DISEASES)  
OF THE MINISTRY OF HEALTH, LABOUR AND WELFARE  
JAPAN INTRACTABLE DISEASES RESEARCH FOUNDATION